

行政報告

(令和 8 年第 6 回定例会【9 月】提出)
安芸太田町

1 戦没者追悼・平和祈念式典について【総務課】

8月15日、役場本庁で安芸太田町戦没者追悼・平和祈念式典を開催しました。遺族会や原爆被害者の会、町関係者併せて90人が参列されました。式典終了後には、筒賀小学校の平和学習の取組紹介を行いました。

また、正午には防災行政無線でサイレンを鳴らし、黙とうを呼びかけました。

さらに、戦争による被害の実態を知り、平和の意義を正しく継承していくために、8月6日から15日の間、広島の実話を基にしたアニメ映画の上映のほか、加計高等学校美術部の作品展示を行い、多くの方にご来場いただきました。

2 安芸太田町消防ポンプ操法競技大会について【危機管理室】

8月23日、「安芸太田町消防団ポンプ操法競技大会」を旧戸河内中学校グラウンドで開催しました。11の分団からポンプ車の部に3チーム、小型ポンプの部に8チームが出場し、部門毎に訓練の成果を披露しました。なお、当日は猛暑の中での開催となり、団員にもご苦勞をおかけした事を踏まえ、次回以降は暑さ対策について工夫をしたいと考えております。

3 第三次長期総合計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略）施策評価について

【企画DX課】

第三次安芸太田町長期総合計画「安芸太田町総合ビジョン」（まち・ひと・しごと創生総合戦略）の初年度である令和7年度に実施した事業について、同計画策定時に設定した目標値と実績値を点検し、施策の成果と課題について内部評価を行いました。

この内部評価については、8月7日の「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において、各委員からご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ、PDCAサイクルの徹底を図りながら、引き続き各施策の目標達成に取り組んでまいります。

4 安芸太田町地域公共交通会議について【企画DX課】

8月5日、安芸太田町地域公共交通会議を開催しました。会議では、路線バス、新公共交通システム「もりカー」、定額介護タクシー、定額ライドシェアの運行状況について報告するとともに、「もりカー」の運行の効率化及び運行経費の削減を目的として、乗り合い割引料金を10月1日から導入する予定について報告いたしました。

また、町内の介護タクシー事業は順調に運営をされているところですが、町社協で担っている福祉有償運送については対象者が異なることから、引き続き町内で事業を継続する事についてご審議いただき、了解をいただきました。

5 安芸太田町物価高騰対応生活応援給付事業について【企画DX課・産業観光課】

今年の2月6日に、県内で最も早く1人当たり1万円を地域通貨 morica マネーで給付した物価高騰対応生活応援給付事業ですが、利用期間が7月31日で終了しました。結果として総額5,223万円を給付し、うち利用額は4,919万8,206円で、利用率は約94%で終わりました。

多くの皆様にご利用いただく一方で、未利用分が生じていることから、今後同様の事業を実施する場合は、より多くの方にご利用いただけるよう、周知方法や利用機会の拡大などの改善に努めてまいります。

6 太田川総合開発事業に関する熊本合同視察について【企画 DX 課・建設課】

6月18日・19日の二日間にわたり、議会ダム対策調査特別委員会と合同で、流水型ダムとして完成したばかりの熊本県の阿蘇立野ダムと、これから事業が本格化する川辺川ダム建設予定地を視察しました。

施設管理者・建設者である国土交通省九州地方整備局担当部署から、それぞれの施設概要、施設設計の工夫、環境保全措置の取組みや整備効果の説明を受けたほか、地元自治体の南阿蘇村、五木村と、ダム建設の歴史や地域振興の取組みについて意見交換も行っていました。

それぞれ現場でしか得られない感覚や、経験による知見をいただいたと思っておりますが、今後も引き続き、先進事例の調査・研究やダム設置自治体との交流に努めてまいります。

7 自治振興会のつどいについて 【地域協働課】

6月17日、川・森・文化・交流センターで、「自治振興会のつどい」が開催されました。

会議のはじめに、行政からのお知らせと事前に頂いた質問や要望に対する回答を行った後、島根県中山間地域研究センターの東良太（あずま りょうた）氏の講演に続き、32名の参加者が5つのグループに分かれて、前回（2月14日）の会議で取りまとめた地域の取組や課題などを基に、グループワークを行いました。

参加者からは、「同じ悩みを共有できた」「他地区の取組を取り入れてみたいと思った」などの感想が寄せられました。

8 地域おこし協力隊活動報告会の開催について 【地域協働課】

6月27日、川・森・文化・交流センターで、地域おこし協力隊活動報告会を開催しました。

各隊員の個別ブースでは、とごうちストアの商品やマウンテンバイクの展示、自家焙煎珈琲の試飲など、来場者とミッションや活動について直接会話をしながら交流しました。会場には、約50名の参加者があり、日頃の活動について知っていただく貴重な機会となりました。

9 イベントの開催状況について【産業観光課】

6月は吉水園春の一般公開や第47回中国地方選抜神楽競演大会、7月は第60回納涼加計まつり、そして8月は第33回安芸太田町ふれあい戸河内まつりといったイベントが町内で開催されました。60回記念となった納涼加計まつりでは、町内小学生170人が作成した風鈴を展示するなど、各イベントにおいて町内外問わず多くの方へ安芸太田町の魅力を伝える機会となりました。

また、振興会単位でも創意工夫された夏祭りや盆踊りが開催され、地域の活性化につながる賑わいとなりました。

10 安芸太田町神楽振興について 【産業観光課】

7月4日、兵庫県西宮市の兵庫県立芸術文化センターで「ひろしま神楽関西公演 in 西宮」を開催し、本町からは津浪神楽団が出演しました。

本イベントは安芸高田市、北広島町の各神楽団との三市町合同による神楽公演イベントで、当町は昨年からは参加し始めたところです。

当日は県内外から多くの来場があり、ひろしま神楽を関西でアピールをすることが

できました。今後も、本町の歴史・文化に根付く伝統芸能神楽の魅力を発信し、認知度向上を図っていきます。

11 道の駅「来夢とごうち」再整備事業について 【道の駅推進チーム】

旧 J A 広島市戸河内支店の解体工事が完了し、道の駅本体工事に着手するため、8 月 17 日から工事区域が変更されました。道の駅第 2 駐車場への進入ルートの一部規制や戸河内 I C バスセンターバス停の移設を伴うことから、道の駅再整備事業者ゲートステーションあきおおたと連携し、町広報誌やホームページへの掲載ほか、現地に予告看板を設置するなど、周辺住民や事業者への事前周知により円滑な工事の推進を図っています。

工事の進捗状況等については、町広報誌やホームページ等で随時お知らせすることとしています。

12 かわまちづくり計画登録について 【道の駅推進チーム】

8 月 7 日、国土交通省へ登録申請していましたが「安芸太田町かわまちづくり計画」が、正式に登録されました。

計画では、温井ダム周辺地域のインフラツーリズムや湖面利用の促進と、プラットホームつなみ周辺の護岸利用による地域の活性化を目指す内容となっています。

今年度を含めた 5 か年での整備計画となっており、河川管理者の国土交通省の支援を受けながら、町内の魅力を高め、地域活性化を推進していきます。

13 マウンテンバイク先進地現地研修の参加について 【道の駅推進チーム】

8 月 26 日・27 日、県主催のマウンテンバイク先進地現地研修に参加しました。

具体的にはマウンテンバイク活用社会推進協議会の一員が管理・運営している山梨県内の市川公園マウンテンバイクフィールドでのライド体験や当該施設を設置している市川三郷町とのミーティングなどを行いました。

研修には本町他、庄原市や町内事業者等計 11 人が参加され、実際に、マウンテンバイク初心者が最初に経験する、拠点での練習コースと、古道を利用して整備された本格的なコースを体験しました。

私も参加をさせていただき、事業化した場合の具体的なイメージをつかむことが出来ましたし、経営面での見通しも感じてきたところです。今後も引き続き、先進事例を参考に、山間部の特性を活かしたマウンテンバイクを活用したサイクリング振興を進めて参ります。

14 介護予防教室「のびやか」（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施状況について 【健康福祉課】

本町では、通所型サービスとして介護予防教室「のびやか」を町内 4 会場で、週 1 回健康運動指導士の指導で、脳トレーニングおよび筋力トレーニングを実施しています。

令和 8 年 3 月に 65 歳以上の住民を対象として実施したニーズ調査の結果、機能低下が見込まれる対象者 302 名および要支援者 100 名、計 402 名に対し、教室参加の案内を行いました。

7 月末現在の参加状況は、筒賀会場 14 名、戸河内会場 17 名、坪野会場 5 名、加計会場 17 名の計 53 名となっています。

なお、当初予定していた修道会場については、希望者が 2 名のみであったため、会場を坪野地区へ変更し開催しています。

15 「黒い雨」に遭われた方への被爆者健康手帳交付について【健康福祉課】

令和4年4月1日から運用されている「黒い雨」にかかる手帳交付制度の申請状況等について、本町における8月末までの累計件数は次のとおりです。

申請種類	申請件数	交付件数	却下件数
被爆者健康手帳の交付	675 件	641 件	29 件
健康管理手当の認定	785 件	604 件	175 件

また、手帳の申請 675 件の各年数の実績は次のとおりです。

申請実績	黒い雨	黒い雨（胎内）	合計件数
令和3年度（2021年度）	201 件	2 件	203 件
令和4年度（2022年度）	229 件	5 件	234 件
令和5年度（2023年度）	113 件	13 件	126 件
令和6年度（2024年度）	71 件	4 件	75 件
令和7年度（2025年度）	30 件	2 件	32 件

※ 令和3年度中の申請は、全て令和4年4月1日付けの決定となります。

※ 令和8年度の申請は8月末現在で5件（黒い雨5件、胎内0件）となっており、累計 675 件となります。

今後も、厚生労働省及び広島県と連携し、町広報紙等を活用しながら「黒い雨」にかかる被爆者健康診断等の制度周知や被爆者援護法による手当等の適正な事務に努めていきます。

16 保小中高連携について【教育課】

7月21日、町内のこども園、保育所、小学校、中学校、高校の園長、所長、学校長が一堂に会する安芸太田町保小中高連絡協議会を加計高校で行いました。

会議では、安芸太田町自然保育の取組について説明をしました。また、中学校区ごとに分かれ、校種を越えたコラボレーションの具体について協議をしました。毎年実施しているこの会が、本町の教育大綱にある「安芸太田町らしい学び」の実現に向けた取組の一つとなっています。

17 学校教育活動について【教育課】

5月下旬から6月初旬にかけて、第1回目の学校運営協議会を町内全ての学校において開催しました。委員の皆様には授業の様子を見学していただくとともに、それぞれの学校運営方針や取組の重点等を説明し、承認を受けました。

5月27日から29日までの3日間、町内3小学校の5年生が合同で、国立江田島青少年交流の家において、カッター研修などの体験活動を実施しました。日常とは異なる江田島での体験活動を通して、仲間と支え合いながら自ら考え、行動に移す姿が見られました。

7月29日、今年で14年目を迎える「科学アカデミー」を日本技術士会中国本部から講師をお招きし、小学生を対象に実施しました。定員を超える応募があり参加者は科学に対する興味関心を高めました。今後は、10月に小学生高学年、中学生を対象に開催する予定です。

18 第 64 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の開催について【教育課】

第 64 回大会は、8 月 1 日から 4 日までの 4 日間、つつがライフル射撃場で開催され、45 都道府県から 120 校、選手 512 人の参加があり、初日の開会式には、加計高等学校射撃部の生徒代表が力強く選手宣誓を行いました。

酷暑の中での大会となりましたが、入場制限などをした結果、熱中症疑いの生徒等もなく、団体 2 校、個人 4 人が大会新記録の成績を残されました。

加計高校射撃部は、エアライフル女子団体 9 位が最高成績で、惜しくも入賞を逃されましたが、ボランティアスタッフとして、準備や運営の補助を担っていただきました。

この大会の本町開催は、平成 18 年度から 21 年目、20 回目を迎えましたが、施設の設備や競技機器の老朽化もあり、令和 9 年度は、埼玉県長瀬射撃場での開催となります。

19 平成 30 年成人式同窓会開催及び戸河内ウキスキー贈呈について【教育課】

8 月 12 日、「未来へつなぐ戸河内ウキスキー」として企画された同窓会が月ヶ瀬温泉やぶ月で行われました。

この企画は、平成 30 年 1 月 7 日に開催された平成 30 年安芸太田町成人式を記念して、戸河内ウキスキー樽を旧 J R トンネル内に貯蔵し、ウキスキーが仕上がる 8 年後に同窓会を開催して、成人式の記念品として贈られたウキスキーカップを持ち寄って乾杯しようというものです。

今回、幹事達の呼び掛けにより、同窓生や恩師が集まり、私から幹事代表に完成した戸河内ウキスキーボトルを贈呈させていただき、8 年前に約束した「再会」と「乾杯」が実現されたところです。

20 病院事業の取り組みについて【病院事業】

本町は、厚生労働省の「在宅医療の効率化のためのデジタル化及び ICT 導入促進に係るモデル事業」に採択され、健康福祉課や地域協働課等と連携しながら、「眠りスキャン」や「スターリンク」等を活用した新しい在宅医療の構築に向けて調整を進めています。

また、安芸太田病院あり方検討委員会においてとりまとめた病床削減計画に従い、今年度は療養病床 10 床を削減する予定ですが、これに伴い、厚生労働省の病床数適正化緊急支援事業を活用し、1 床あたり 400 万円の支援を受ける予定です。

さらに地域商社との連携による新たな取組として、里山の自然や食事と人間ドック受診を組み合わせた宿泊型プランの募集を開始し、1 名が実施済、2 名が 9 月に受診予定であり、町の魅力発信と滞在促進を図っています。

最後に、広島県医療勤務環境改善支援センターの支援を受け、院内の勤務環境評価と改善に取り組んでいます。